

令和3年度事業アンケート [様式2] (記述式) まとめ

1 視察研修

- ・いろいろな地区の方と交流が出来て有意義と思います。
- ・未体験の施設を見学でき、そこで働く人の意気込みを聞いて、良かった。
- ・普段見慣れない所の見学は知識ができて良かった。
- ・現在コロナ禍で行えない状況ですが、以前行った経験があり会員相互の交流ができてよかったです。
- ・5年前にハンセン病施設に行きましたが、とてもためになり、良かった。でも今はまだコロナ禍でこういうこともできなくなり残念です。
- ・視察は実体験ができ、身になるので良い。
- ・特に新人の委員にとって、知識を深めるため、また、先輩委員から実情を聞く機会となるために必要な研修である。
- ・意義のある活動で継続していきたい。
- ・視察研修、勉強になるので実施してほしい。
- ・視察研修は今後も行うべきです。ただし、私的な部分は自己負担で。
- ・1泊にての研修が望ましい。他の地区民協との数少ない交流の場です。
- ・新型コロナの影響で、視察研修に行けない状態が続いているが、早く再開できることを期待している。
- ・以前の1泊研修も良かったように思う。
- ・毎年行わなくても2年に1回、日帰りに。
- ・全員行かなくてもいいのではないか。代表者による伝達形式でもいいのではないか。
- ・日帰り研修でよいと思います。研修を充実する。
- ・(1～5全て) 専門性を高める研修と他職種との連携を深める研修
- ・回数より質ということで3年間のうちでたくさん行き過ぎるより、年に一つずつ学ばせていただけたら良いのではないかと思います。
- ・視察研修は一泊研修とせず、一日で日帰り研修にしたら参加者人数がふえると思われる。
- ・日帰り研修でいい。
- ・介護施設、特養など全体的な理解不足にて、詳細な研修をお願いしたいです。
- ・1泊研修(視察)については、地区単位なら必要か。
- ・研修は有意義ではあると思いますが、日帰りを希望します。
- ・18地区を3つに分けて研修するには、(バス2台)人数が多いため、研修受け入れ先が限定される為、地区ごとに視察研修をした方が勉強になる。また、研修先も多くある。地区に人数割りで金額を助成して欲しい。研修成果を発表したら良いのでは…。
- ・自分は高齢者となり、研修・講話等に参加しても一週間もすると忘れていく。講師の方々に申し訳ないがこれが実情です。
- ・年度により行先が違う。統一した方が公平、公正。新人の人等、バラバラ・・・。新人、ベテラン他、年数に応じた研修、地域も考慮。
- ・健全育成協議会にて防災センター、清掃センター等々の研修に参加したことはあるが、豊川市以外での「体験研修」等あれば良いと思う。
- ・今期はコロナの影響で日帰りになりそうだが、これからも泊まりではなく日帰りにした方が良いと思う。
- ・原点に戻り、研修のみにすべきと思う。飲み会が必要なら全額自己負担で行うべき。
- ・視察研修は泊まりとなると参加しにくいです。

- ・コロナ禍のため無理。
- ・視察研修はコロナの感染収束状況にもよるが、安定してきたら少人数での日帰りバス旅行が考えられる。
- ・視察は大事と思う一方、全員で宿泊ありで行くより、人数を代表者等に制限して視察し、都度いい報告をしながら、全体への周知・理解の向上を計る方が、お金のムダがなく効率的だ。又、任期があり、地域のことを見守ることが一番の活動であるなら、身近な豊川市の事例・現状・その対処法・連絡先や、地区の連携の取り方などの理解を深めるべきだと思います。(市社協とトップの方達での会議の報告も、事務連絡ばかりでは、それこそ資料配布で良いのでは?)
- ・100人単位での視察では、研修に対応できる施設がかぎられる。補助金を使うことで無理して研修をおこなうことは、いい加減やめたほうが良い。補助金をやめてみんなで遊びに行きましょう。
- ・視察研修というより、民生委員の交流みたいに感じます。研修目的であればビデオ、スライド等見ても出来るのではないのでしょうか。
- ・全員参加でなくてもよい。リモートでの参加でもよいと考えます。
- ・視察研修は必要ないと思う。特に視察する場所も特に興味を覚えない。
- ・視察研修の目的・意義の再確認が必要。
- ・豊川市民が認める内容が必要と考えます。まず、宿泊は必要ありません。仕事で休めない委員もいれば、子供がいて家を空けられない委員もいます。懇親会と称して酒飲みの宴会場と化している現状は即止めるべきです。市民の方から慰安旅行と言われている視察研修は、根底から見直すべきです。

2 全体研修

- ・共通するテーマを全体認識を統一していく事は大切と思います。
- ・(10/25)知らない事も話しの中にあるので、勉強にはなりました。
- ・今回のお話は、具体的な現場のお話で、とてもわかりやすかったです。
- ・実例が良い、わかりやすい
- ・いろいろな考え知識を得られるので良いと思います。
- ・10月25日(月)の「8050問題/引きこもり支援について」の講演はとても参考になった。
- ・先日は人権とか8050問題の話でしたが、とても参考になりました。年に1~2回開催されるといいと思う。
- ・とってもいい話でした。
- ・全体研修について、年2回ぐらい実施してもよいと思う。
- ・たいへん良いお話しが聞いて良かった。これからも積極的に参加したい。(10/25日開催の研修)
- ・今回初めて担当専門部会委員として参加いたしました。開催前から専門部会委員の内部研修で、事前に当日の講師の話を窺うなど、入念に準備を進めた結果、大変に有意義な研修であったと思いました。今後も、こうした研修を希望します。
- ・意義のある活動で継続していきたい。
- ・参加の経験があるので、勉強になったとおもっています。
- ・8050。テーマはタイムリーであり、内容も濃くあつと言う間の時間が経った感じだ。終了時間前に講師の方が「もう少し(延長)いいですか?」の質問に、会場後方から大声で「止めて!」と発言があり、先生に対して大変失礼なことをした。民児委員として恥ずべきことである。このような研修は必須と思われる。継続実施を。
- ・豊川市全地域の民生委員活動において、実際にあった事件、困り事等を取り上げ、その件についての対処法や解決のしかたを取り上げてみてはどうか?
- ・研修テーマが2件は過多。そのためか時間も長かった。研修②の「8050」関連は、内容が具体的で、詳細に説明され、良かった。質疑応答に15~20分は必要。
- ・全体研修は場所を固定化したら(文化会館に)

- ・今年度の「8050 問題/引きこもり支援について」は具体例を用いての説明で興味深い内容だったが、少し時間が長く感じた。
- ・全員の出席が必要とは思えない。新しい委員の出席は必要であると思うが、他は代表者のみでよい。
- ・講師の方の経験談は、非常に参考になるが講演の最後の方になると、自慢話のように聞こえてくるので、要点をまとめてわかりやすく解説してほしい。
- ・毎回とても勉強になりますが今年にかぎっては、キャパオーバーだったと思います。(時間が長くなりすぎて途中で帰らせてもらいました。すみません)
- ・それなりに為になる。
- ・専門委員研修会の内容と被っていたので少し残念だった。
- ・講師の方は最後に、民生委員の方は〇〇して頂ければ、など具体案を付けてほしい。例えば情報を得たら、まず社協へ報告して下さいなど。
- ・仕事をしている人も多いと思います。研修そのものは大切な事だと思いますが、講師の方の人はしっかりしておいてほしい。仕事を休んでまでの必要のない講演がある事があると思う。
- ・自分は高齢者となり、研修・講話等に参加しても一週間もすると忘れていく。講師の方々に申し訳ないがこれが実情です。
- ・今年の全体研修では、後半の講師が時間を気にせず延々と話を続けていたのが気になった。講師は時間を守って話を構成してほしい。
- ・今までよく分からなかった事が、少しは知ることが出来たが、なかなか実行できていない。
- ・仕事を持っている者としては土日の開催を希望します。
- ・学者、施設等の偉い人の講演は、とかく理想論になりやすい。現場の経験を積んだ方の講演を望みます。
- ・話の内容が、民生委員の普段の仕事と関係のある話をして欲しい。講師の人の体験談ばかりではあまり参考にならない。
- ・講演会は、1人当たり1時間以内。2人までとして頂きたい。
- ・数回研修に参加したがあまり身になっていない。会場が広すぎて集中できない。
- ・10月25日の2つの研修は長過ぎ、1つでよい。だらける。

3 専門委員研修

- ・専門委員会の報告は必ず、地区民児協で報告する事が大切
- ・「8050」にかかり、時を得たテーマで参考になり、良かった。
- ・年に一度程度ならスキルアップ出来て良いと思います。
- ・実地見学ができて良かった。
- ・専門委員研修会で、他の地区の方の情報交換とか意見とかお話ができ、専門の勉強以外でも大事だと思います。
- ・意義のある活動で継続していきたい。
- ・専門委員(子供)なのでお年寄りとは全く関係がないと思いがちでした。それが50まで引きこもり、8050にもつながる、というように一部の人が思いきや、全体に考えなければと思った。
- ・地域を4か所ほどに分けて、研修対象者を全員に。
- ・実例事態で人に伝えやすい方法。
- ・コロナで思うように研修が進んでいない。
- ・研修成果を活用する場がない。
- ・児童福祉専門委員の長として関わらせてもらっていますが、長いスパンで主になって動いていただけの方をお願いしたほうが良いように思いました。
- ・専門委員研修について、専門委員のみとせず、その他一般の児童委員、民生委員の参加も呼びかけたらよいと思う。

- ・それなりに為になる。
- ・専門委員のみが研修を受けるだけでなく、良かった研修は4部会ある中の1つは各地区で研修を実施したらどうでしょうか。せっかく民生・児童委員になったのですから学びを深めるチャンスではないでしょうか！
- ・専門委員にならないと、他の人が受けない。
- ・研修の中に今回これ必要ですかという内容のものもあり、ここ2年は少ないのですが、他にも含めて研修が月に重なることもあり多忙になる事も。いろいろな事を含め春夏秋冬に各1回としてほしいです。民協もあり、各地区のこともあり多忙すぎてしまいます。考慮お願い致します。
- ・学者、施設等の偉い人の講演は、とかく理想論になりやすい。現場の経験を積んだ方の講演を望みます。
- ・専門委員だけでなく全体での研修でもいいのと思う研修がありました。専門委員でなくても参加できますが、なぜ専門委員の研修なのか解らないです。
- ・専門委員のみの研修が必要か。部会別の方が目的・内容も絞りやすいのでは。
- ・視察など多くの時間とお金を使うなら、グループ活動的に専門委員を作り、それぞれの研修の内容の報告会をした方が、わからない時にも近くで質問ができたり、内容の理解が深められると思う。
- ・専門委員会開催の日時ですがコロナの影響などで変更になった時、連絡が開催日の1, 2日前に通知が届いた時が2回くらいありもう少し余裕がほしかったです。(他の地区の民生委員の方とも連絡を取り合っていたのですが)
- ・よくわからないことが多い。

4 主任児童委員連絡会による児童委員研修

- ・このアンケート提出後に、児童委員研修があります。主任児童委員連絡会で勉強したことを地区民児協で伝えた内容についての研修なので児童委員さんと共に考えたり見守る活動につながっていけるといいと思います。
- ・皆さんといろいろの事について話し合い勉強になりました。
- ・意義のある活動で継続していきたい。
- ・今までよく分からなかった事が、少しは知ることが出来たが、なかなか実行できていない。
- ・コロナの中であまり経験する時間が少なくて残念に思いましたが、ゆずりはの施設の見学や学校長の先生がとてもすごく熱心にやっていることを、多くの人に知ってもらいたいと思います。
- ・地域を4か所ほどに分けて、研修対象者を全員に。
- ・それなりに為になる。
- ・主任児童委員の役割・在り方を明確にする。
- ・新型コロナが収まったら、また始めて欲しい。
- ・民生委員児童委員が、主任児童委員と区別されているという理解が”関係ない”という理解になりがちなので、児童委員としての活動の祭に必要な情報提供として大事だと思う。

5 児童委員研修(1.5歳, 3歳健診)

- ・健診にくるお母さんの手助けにはなっていると感じました。
- ・小さな子供に呼びかけ楽しみです
- ・主任児童委員になって初めての新任研修でした。何をどうして良いかわからなかったけれど、新しい児童委員さんと共に参加してコミュニケーションの場ともなり、又小さな子どもたちの様子を見る機会となりました。
- ・関わる経験のない人にはとても良い貴重な場だと思います。
- ・民生委員は児童委員であるということを認識できる良い活動(研修)であると思います。
- ・親や子供の様子が見れて良かった。

- ・意義のある活動で継続していきたい。
- ・参加の経験があるので、勉強になったとおもっています。
- ・新型コロナが収まったら、また始めて欲しい。
- ・ここ数年で、児童委員さんも、少し子供達の方へ目を向けて下さるようになりましたが、「老人」担当と言い切ってしまう方もまだまだ多いです。(関係ない！と言う人がいます)が、CMでも流れる程、全国的に周知をうたっているという現状です。とても必要な存在になっていますネ。主任児童委員のメインの活動とは異なりますが、地域の子供の見守りはでは、ぜひ動いて欲しい一員です。ですが、0歳～18歳の児童との接点や、乳児を抱える親子との接点は個人的にムズかしいので、唯一、今の状況ですと、地域の中でどのような感じなのか、接点としては有効ですが、地区ごとや、又、イベント等何か工夫をして接すること。学校の見守りを1つの仕事として取り入れる等、地域でのきまりのもとに、ぜひ、接点を設け、子ども達への見守りの目を養っていただきたいと感じます。(できれば、全地区共通としての仕事として)
- ・1.5歳、3歳児の健診を児童委員研修として、その目的や成果についての表示が欲しい。何をもって研修としているのか、個人の主観のみで目指す所が見当らない。
- ・健診に参加するも初めての事なので立っているだけでいいのか不安。(子供が転倒しない様自分なりに気をつけていた)
- ・健診に参加する目的や立ち位置を民生児童委員としてはっきりさせないと、ただ立っているだけで、意味を感じられなかった。
- ・健診に参加する委員がおおすぎるのか、健診に参加しているより入り口でずっと立っている状態に改善する必要があると思います。
- ・今までよく分からなかった事が、少しは知ることが出来たが、なかなか実行できていない。
この研修には発足当時に参加しましたが、民生委員は壁際ないし入り口付近に立って、健診終了後の親子さんが保健士さんの話を聞く姿をながめるだけでした。たまに脱走しようとする兄弟をおしとどめる、これは研修ではなく、お手伝いだなと思いました。
- ・一度だけの研修で充分と思う。
- ・健診にも参加したが、どう研修として考えるのか。お手伝いか。もっと児童委員をPRして日常活動に反映させるべきではないか。
- ・研修と云うより見守りみたいですネ！
- ・新任の民生委員・児童委員の研修に値しないと考える。今後も当活動を続けるなら、名称を「協力」と変更する事。合わせて、段取り(検査内容の説明、委員の活動の目的と内容の説明、保育士さんとの顔合わせ、会場にいる親子への挨拶、開始と終了時のメリハリ等)をきちっと決め、それを確実に実行するよう取り進める事。
- ・1.5歳、ブーフーウー教室に参加したことがあるが、ほとんどやることがなかった。本当に手伝いが必要か?と思った。
- ・あまり必要性を感じません。
- ・健診の手伝いであれば少人数で、親子の様子の観察ならば他の事業(育児相談やブーフーウー教室など)でよいのでは?
- ・健診の手伝いで有意義なものとは思わない。
- ・数回健診に参加させていただきましたが、何もする事がなく民生委員の手伝いはいらぬかと思いません。児童委員の方だけで大丈夫だと感じました。
- ・1.5歳、3歳健診協力について、お手伝いする人数が多いと思います。
- ・幼児検診は行政の仕事である。民生児童委員であって、民生幼児委員ではない。
- ・健診は本来保健師さん達が行うのが必要と思う。民生委員が手助けする必要があるか?
- ・必要ですか。
- ・1.5歳、3歳児健診に参加して思った事。子供は親にべったりしていて、見知らぬ人がいると親も敬遠

する。児童委員研修は必要ないと思われず。

- ・健診のお手伝いだけで、あまり研修とは言えないような気がします。
- ・健診手伝いはボランティア、民生委員がやる必要なし。なんとなく、民生委員の方からやらせてくれ、手伝わせてくれ、と言って今があると思う。
- ・経験が無いから解らないが、年寄りの民生委員が行ってどうなの？
- ・これが研修になるとはとても思えない。得るものもなく、必要はないと感じた。

6 ひとり暮らし高齢者世帯把握調査への協力

- ・担当地域の高齢者のために必要だと思います。
- ・町内会に入っていない方はわかりづらく、市からの一覧表が参考になります。
- ・できることは民生委員として協力したい。
- ・年1回の調査で何うのは目的があって訪問しやすくして良い。
- ・地域の実情を知るためにも有意義である。
- ・意義のある活動で継続していきたい。
- ・民生委員の活動として有りと思います。
- ・訪問するととても喜んでいただき、時間を見つけて訪問しようと思う。
- ・活動は民生委員児童委員が情報を得る手段として重要です。ぜひ継続して下さい。
- ・民生委員のメイン業務と考えます。
- ・独居老人への定期的訪問は必須。
- ・見守りが必要な人かどうかの確認の為に必要だと思う。
- ・見守り等の活動は民生委員個人の活動では限界がある。(対象者が多い等)町内会単位で組織として活動を行なう事が必要である。
- ・毎月1回は訪問して把握する様に心掛けていますが、全員とは出来ない事も有ります。豊川市災害要援護の加入に入らない方の説得は時に苦労します。
- ・まず、当該調査へ、行政はリストを打ち出すだけで、実務は行っておらず、「への協力」は外すべき。単身者の”緊急連絡先”は、誰かが聴取する必要があり、出来るのは民生委員しか出来ないと考える。
- ・互いに近所どうしても話し合いがなく、調査が乏しい。
- ・具体的データの入手はどこから。
- ・呼び鈴出してくれないとき何回もいかなければならない。
- ・毎日訪問はとても無理です。
- ・「一人暮らしの人」と思って訪問すると、家族と同居されている場合が多々あります。「世帯分離」の方でしょうか？実態は「一人暮らし」ではないので、もし市役所の方で分かっているなら、同居していることがわかるように表示できませんか？(何かの印をつけるとか…)
- ・一人暮らし調査の結果 何をどう情報活用しているのか、良く分からない。
- ・ひとり暮らし高齢者を名簿に従い訪問していても、入院、転居等で不在となった場合、訪問或いは近所からの連絡で戸が閉められていた時、最悪な状況を考えってしまう。前記の入院、転居等の場合、必ず民生委員にも連絡が欲しい。
- ・コロナ禍である事もあるが、町内役員や組長さん等との情報交換の場が全くないので、一人で活動しているような現状です。自分の活動で得ている情報だけでなく、近所の方々の情報も欲しいと思います。
- ・この調査は土地勘のある地域の民生委員が協力すべきだと思います。しかし表札の出していない方、家の中で人の気配がしても出ていらっしやらない方等、お目に掛かるのが難しい場合があります。その際は、市役所の方で調査願います。名簿に誤りがある場合、民生委員が指摘、報告するのですが、毎年同じ誤りが載ってきます。もう少しきちんとして頂きたいです。民生委員のやる気が失せます。
- ・我々は、行政区別のひとり暮らし一覧表を基に見守りを行っているが、亡くなられたとき、市へ死亡届が出されているのに何の連絡も来ない。翌月に訪問して亡くなったことを知る場合が多い。早めに連

絡して頂きたい。

- ・ひとり暮らしの高齢者の名簿の中には、多くが同じ敷地内で暮らしていて、それを一つずつ確認しづらいと感じます。又、それを調査の負担も感じます。
- ・情報を調査して挙げることは大事とは思いますが、一人でやっているのは大変だと思う。(動くこともムズかしい方もいます) 増員できたらよいのではと感じている。

7 介護用品券・理美容券の配布の協力

- ・介護高齢課からの郵送が楽ですが、民・児委員としては本人、家族とのつながりを考えると現行のままが良いと思います。
- ・事業としてはいいと思うが、対象や金額については、もう少し様子を見たい。配布は、費用面や対象者の利便性から民生委員実施で良い。
- ・訪問のきっかけとなり声掛けがしやすくなる。
- ・できることは民生委員として協力したい。
- ・いい事だと思っています。
- ・地域の状況を初めて知ることもあり、有意義だと思う。
- ・介護用品券の配布の連絡をいただけるのはありがたい。
- ・意義のある活動で継続していきたい。
- ・介護券を配布しながら様子を聞けたり出来て良かった。
- ・介護用品券、コロナの関係で配送になっているが、直接渡して確認したい。
- ・活動は民生委員児童委員が情報を得る手段として重要です。ぜひ継続して下さい。
- ・介護用品の配付については、その人を確認することができて必要と思われる。
- ・同券を持参しないと、高齢おばあさんとの会話に困る。訪問時のネタを持たせる配布は今後も必要です。
- ・配布するに当たり留守や居留守(家にいても出てこない)等で、一週間同じ家を訪問し、いやな思いをした経験があり、又、高齢者がいても「印かん」がもらえなかったり、「字が書けない」などの事もあります。介護高齢課で対象者全員に郵送にしてほしい。
- ・介護券を届けに伺い領収印をもらう時お孫さんが対応してくれ、僕でいいんですかと言われ、お母さんに確認の電話を入れてくれ、もう少しわかりやすく説明が出来ていればと思いました。
- ・介護用品券の配布スケジュールがわかりにくかった。
- ・介護家庭では民生委員が券配布で訪問すると、家族の情報が知れることで歓迎されない、嫌がられることがあるので、介護認定時に、市役所が郵送又は民生委員が配布するかの希望を聞く配慮をお願いします。
- ・実態を把握するには良いと思うが、中にはあまり知られたくないと思う家族もいるので、配布するか郵送にするか、市役所担当の方から家族に希望を聞いて行なった方が良いと思う。
- ・施設により介護用品券が使用できない。
- ・介護用品券の配布は、高齢者の実態を把握することは良いけれど、何度訪問しても不在のことが多く困ることがあります。
- ・地区以外の方の配布があり、場所がわからないし、その方の様子もわからず。ただ渡すだけでは心がこもらないのではないのでしょうか。
- ・配布の協力は有りと思いますが、使用できる方が少ない。
- ・知られることを嫌がる方もあるので、希望する方だけ配布すればいいと思います。
- ・民生の本来の仕事ではないように考えます。コロナ禍では直接対象者さんに送ることができたならば今後もその様にしていきたいです。
- ・市からの郵送で良いと思います。
- ・用品券を郵送できるのであればずっとそうしてもらいたい。探しながらかつつけるのが大変。電話番号

もわからないし丸投げではないか。

・住所のみ記入されている介護の方を探すのに大変でした。不在の場合電話がわからないので何度も訪問することが時間的に無駄としました。郵送ができるのであればそのほうが開いてもよいのではと思いました。

・コロナで市役所からの郵便でできているのであれば、この先も郵便でやって欲しいです。

・要介護の状況になられても民生児童委員に何の連絡もなく配布のみするのであれば必要ない。ケアマネが状況を把握しているのでケアマネが配布すればよいのでは。

・本人への郵便による配布がよいと思います。

・市の方から郵送できるならやってほしい。

・介護用品券の配布時に家族の方が留守宅が多く、訪問が夜になったりメモを入れて何回もうかがったりと、結構負担になっていると思います。施設入所している、どこに入所していらっしゃるか教えていただけない方もいて、判断に困ります。郵送していただけるなら、個人情報の為にも直接郵送した方がよいと思います。

・市から直送されるケースもありますから、民生委員が届けなくてもいいのではないのでしょうか。

・何回も訪問したが不在が多いなど負担が大きいので郵送のみで良いと考えます。

・行政の仕事である。民生・児童委員が主となっているのは良くない。

・高齢者宅は防犯上留守番電話になっています。在宅でも知らない電話には出てくれません。初めて介護券を配布訪問の時は、何回も時間を変えて訪問、生活時間帯がわからないため、留守ばかりで何日も訪問する時もあります。市で郵送していただけるとありがたいです。

・「介護用品券、理美容券」をお渡しした時、感謝はされますが、何のアドバイスができるわけではありませんので、配布は郵送で良いと思います。「郵送のお知らせ」をいただいたら、住所は把握できますので。

・介護券は現在コロナのため自宅に郵送してるようですが、それが可能であれば、今後も今の状態で良いのでは、民生委員の仕事の必要があるのか？

・配布に行っても本人に会えない事が多い、又、情報をとれるような雰囲気にならない、郵送で良いのではないか。

・何回も足を運ぶなど（ただでさえ民生委員・児童委員で多忙なのに）労力がかかり過ぎるのでやめてもらいたい。（対象者を委員に連絡するだけでいい。）

・民生委員が配布するのでなく、郵送したらどうか。状況把握は文書を見ればわかると思う。

・対象者世帯に配布した経験から、大変に助かると喜んでいただける家族と、私（民生委員・児童委員）が配布すると裕福な家庭は、あまり有難さを感じず面倒くさが窺える。この配布は、市役所からの送付を希望します。

・介護用品券・利用券配布について、コロナ禍で市から送付しているのであれば、今後も送付してはどうか。

・コロナ禍と言う理由で役所より直接郵送であったり、民生委員が配布したりとあったが、郵送で支障がなければ理由関係なく一本化してほしい。

・コロナ禍では郵送していましたが、できれば今後も郵送がよい。

・コロナ対応で直送したんだから今後も継続すれば良いと思う。その分負担が少なくなる。

・コロナ禍で市から郵送が増えた。個々人のプライバシー感があるので、郵送がベター！

・手渡しのないのではないか？

・すべて、市から郵送して欲しい。

8 ひとり暮らし高齢者を対象としたふれあい電話訪問事業への協力

・コロナ禍で人との会話も挨拶だけになって家の中にいる時間が増え外食も娯楽もままならず引きこもった生活が続いているなか、定期的に電話が入り話ができると喜んでいただきました。何気ない話がで

きる、何を話してもよいので本当にふれあい電話だと思いました。

- ・良いことだと思います。
- ・できることは民生委員として協力したい。
- ・一人暮らしの高齢者を支えるのにはとても大切な支援。一日を、人と接することもなく話をするのもなく終わる方もいる。その電話の中でその人の心のバランスなども取れると感じるし、身体の状況も把握できる。
- ・皆さん電話を待っていらっしゃるので喜ばれている。
- ・意義のある活動で継続していきたい。
- ・必要と思います。
- ・活動は民生委員児童委員が情報を得る手段として重要です。ぜひ継続して下さい。
- ・新人の時に担当させてもらい、高齢者とのかかわり方を覚えることができました。
- ・当該民児委員だけでなく、他の方との話ができることを楽しみにしている人がいます。孤独感が少しでも薄らぐので良い活動だと思います。
- ・話し相手のほとんどいない一人暮らしの高齢者の方は、とてもふれあい電話を楽しみにしている。
- ・ふれあい電話訪問の相談員を体験したが、利用者のお年寄りが喜んでくださり感動しました。いろいろ難しいことがあったが、今後も続けて欲しい事業だと考えます。
- ・個人としては遠慮がちに耳に入らない。
- ・対象者の中には、話の長い方や留守で何度も電話をかけ直す事もあり、一人で担当できる人数を上限6人までにしていきたい。
- ・女性民生委員数の少ない地区では、2年連続で担当する民生委員の方もおられ、大変な負担になっている。電話で話をするだけなら、男性の民生委員も行っても良いと思う。
- ・現状の利用者数を考えると、高齢者相談センター職員が、担当地区の利用者に直接電話訪問した方が、効果がある。したがって民生委員への協力事業を廃止すべき。
- ・社協事務局の職員が行うべし
- ・ふれあい電話→今すぐ廃止の検討を！！

9 生活福祉資金貸付制度への協力

- ・意義のある活動で継続していきたい。
- ・協力も必要と思う。
- ・活動は民生委員児童委員が情報を得る手段として重要です。ぜひ継続して下さい。
- ・これからも参加して良いと思った。
- ・生活福祉資金貸付についての通知書を当事者に届けることになっているが、実際は郵便受けに投かんするだけになっている。元々民生委員の仕事だったのを現在は社協がやってくれているということだが、生活保護と同様、民生委員は状況を報告してもらっただけで、社協から直接郵送してもらえないだろうか。
- ・制度の紹介くらいしかできない。
- ・なかなか対象一人暮らし高齢者に話をする場（時間）がとれない。
- ・制度の実態が理解不足で手続きなどの手順がわからない。
- ・情報を調査して挙げることは大事とは思いますが、一人でやっているのは大変だと思う。（動くこともムズかしい方もいます）増員できたらよいのではと感じている。
- ・今迄一度もないので廃止したら。窓口は社協一本が理想。
- ・借受人に対する生活実態の把握や借受人にお困りのことがあればサポートするといったことについて問題を感じているのではなく、貸付金償還残額や滞納額に関するお知らせを民生委員に配布することに関して問題があると思う。貸付の償還や滞納に関する業務は、当該貸付を行った社会福祉協議会がすることであり、民生委員はその業務を行う者でも、事業をサポートする者でもないことから、個人情報保護規程等の規範における謂ゆる利用目的による制限を逸脱し、民生委員に償還残額や滞納額を知らせる

ということは、個人情報目的外利用にあたるのではないかと危惧するところである。

- ・貸付金の回収業務は社協がやるべし。
- ・いまいちよくわからない。手紙を届けるだけで内容も分からないし早く返したほうがいいよとも言えないし持っていく意味がない。郵送でできると思う。
- ・行政の仕事である。民生・児童委員が主となっているのは良くない。
- ・訪問する時の声がけがむずかしい。郵送して頂きたい。

10 ふれ愛・みんなのフェスティバルへの協力

- ・みんなで協力し合ってやっていけばよいと思う。
- ・意義のある活動で継続していきたい。
- ・協力も必要と思う。
- ・活動は民生委員児童委員が情報を得る手段として重要です。ぜひ継続して下さい。
- ・担当地区なので毎年かかわって来ましたが、担当地区以外の民・児の関心はどうか。
- ・今年やる予定が中止、今後はやっても効果？
- ・メンバーの意識が高まっているかどうか。バザーについての検討を（「やめる」かどうかを含めて）
- ・やり方は色々あると思うが、社協で必要がないならやる必要はないと思う。目的の設定を吟味すべきことと考えます。豊川市の福祉事業をみてもらうとか、企業とどうつながっているのかの周知や、生活困窮者の相談コーナーがある等、「福祉」としての展示会のようなもので人集めすると同時に、授産所等の製品を見てもらうきっかけの一つにする。又、地域の人との交流をはかる・・・etc。「募金」というより、どんな物が、どんな人達に必要なかを地域の人達へ発信してゆく等していくイベントにして頂いたら、参加する側、又、手伝う側そして、来てくださる方々が皆同じ目的で楽しめると思う。収益金があるなら、それは今回は〇〇の購入に役立てたい等、地域全体での助けを行うようにすべきです。今までムダも多く何に使っているのか・・・。
- ・参加しなくてもよい
- ・民生委員全員でなくてよいのでは？
- ・あまり必要ないと思います。
- ・当番地区になった時、だんご売りに専念しました。どんな意味があったのでしょうか？だんごを売るのにノルマがあり大変でした。ふれ愛・みんなのフェスティバルはなくても良いと心から思いました。
- ・必要はないと思う。

11 赤い羽根共同募金運動（事業所募金）への協力

- ・今後も事業所には、協力して頂く様に出掛けます。
- ・みんなで協力し合ってやっていけばよいと思う。
- ・意義のある活動で継続していきたい。
- ・活動は民生委員児童委員が情報を得る手段として重要です。ぜひ継続して下さい。
- ・各事業所を募金をしてくれるので。
- ・あつめた募金がすべて寄付になるかと思っていたのですが・・・
- ・事業所の方は様々な所から募金の依頼があり、又コロナの影響で景気が悪く、募金が負担になっている所もありました。
- ・市からの事前の連絡が無いとよく言われた。（本人が忘れていていると思うが）
- ・毎回アンケートで不評なのに、何も変わらない。募金について、なぜ必要なのかをきちんと説明、研修をおこなうべきです。
- ・お金のトラブルが心配。
- ・お忙しい中、訪問し募金に協力して頂くのは心苦しく思う。あくまでも協力なので、もう少しやり方を考えた方がよいと思う。

- ・事業所の募金は、一律制にする方法はないでしょうか。(例 2,000円、1,000~3,000円) 訪問しにくいです。
- ・事業所募金については、各事業所毎にウェブで協力の回答をお願いするなどして協力の有無を確認してほしい、景気の変動が激しい中では経営に苦しんでいる事業所もあると思われるから。
- ・昨年度、直接うかがった為、事業主さんと担当者の方との連絡がとれておらず、2度3度と足を運んだので、今年度は事前に連絡を入れ訪問日時を予約したが、それでもすれ違いがあった。もう少しスムーズに行える方法があればと思う。
- ・赤い羽根募金協力金集金に関して、歯科医院に協力して頂いております。(昨年) 訪問する際は電話で時間を伺って行きますが、ちょうど診察時間になってしまいます。待っている患者様に迷惑をかけてしまいます。医院はとても親切に対応して下さいますが、心苦しく思いました。
- ・街頭募金のような複数の人が立つような活動は良いと思うが、事業所へ個別にお願いに伺うのは民生の仕事ではないと考えます。
- ・集金に行くようで心苦しい。出来れば自主的に振り込みなどしていただくように。(例えば国境なき医師団、ユニセフ募金などのように)
- ・担当する事業部署が書面で依頼しているのであれば振り込み等の方法で実施可能である。民生児童委員がどのような思いで協力依頼に事業所へ出向いているか考えているのか。
- ・募金に行ったら民生委員さん大変だで振り込みにしましたと言ってくれお金をあつめるのは出来ればやりたくないと思っています。
- ・本人への郵便による振り込みでいいと思います。
- ・個人事業主等はやらなくても良い。
- ・訪問しづらいところがありやりづらいのでやめてほしい。
- ・事業所募金は民生委員の役割なのですか？事業所募金への意義を理解していないのかも、もっとその説明をしてもらえば納得できるかも。
- ・お金をいただく事に対する気苦労と負担が大きい。町内会の方でやってほしい。
- ・個人等(親族)では、各家庭(世帯)で募金に協力しており、また、協賛会員として募金に協力しているため、お願い訪問しても、あまり良い顔をしない。若い世代に変わってからは辞退する方も多い。民生委員がお願いするより、社協での活動が好ましい。
- ・特定事業所が対象となるため、民生・児童委員が関係するのはよくない。
- ・事業所募金は民生委員が行う必要があるのか？
- ・街頭募金は民生委員・児童委員の間のまとめりとか同志としての感情が高まるので有意義だと思うが、事業所募金は民生委員・児童委員がやるべきことではない。
- ・事業所募金 現金を扱うことは、負担に思います。
- ・事業所への訪問は苦痛に思う。
- ・民生委員の仕事として一番いやな事が多く、共同募金をやるという事が民生委員として、やるべき事かなーといつも思います。やりたくないというのが本音です。
- ・町内で出来る事は町内でやる方がよいと思います。組長は各家庭と共に事業所の募金も行う方がよいと思います。
- ・お金の集金作業はしたくないです。
- ・事業所募金はできる事なら止めて欲しい。
- ・コロナ禍の中、企業も資金が大変な中、募金をお願いをするのはやめた方がよい。また、民生児童委員の方も企業へ出向きお願いするのも嫌や！
- ・中止してほしい。
- ・集金しているみたいであまり気がすすまない。街頭募金だけでいいと思う。
- ・事業所募金の集金は、民生委員の仕事ですか。
- ・事業所募金を民生児童委員が協力するのは疑問がある。

- ・事業所の方は町内で協力、訪問で協力、他でも協力。二重取り、三重取り、気の毒。
- ・気持ち良くくれる人は良いが、そうでない人もいたので止めたい。
- ・毎年の恒例な事業ということであるが、それ自体に非常に疑問を感じざるを得ない。現在の社会状況からして、今まで通りの考え方を踏襲し、予算確保？して活動支援？の財源にするために事業所に対しダブルでお願いしていることに心苦しさをを感じるが、本当に今後も負担をかけることはいかなるものか？
- ・田舎だから「事業所募金」のお願いにいやな顔は見せないが、しかし、それは田舎の付き合いで拠出しているのであって、「任意の募金」ではないと思う。「金の取り立て」みたいで、やりたくない。
- ・民生委員は地域の人々との信頼関係が大切だと思うが、(経営が大変な)事業所に募金をお願いするのは、民生委員の信頼を損ねることにもなりかねない。募金は本来自由意志。民生委員がお願いする必要はないと思う。
- ・それぞれの町内会の仕事として、町内役員の方をお願いしたい。
- ・民生委員の活動として相応しくありません。
- ・民生委員が事業所に出向いていくのはどうかと思う。お金のやりとりはしたくないです。

12 赤い羽根共同募金運動（街頭募金）への協力

- ・毎年参加しているが、個人的には大変よいと思っている。協力をしていると実感できる。
- ・民生委員活動のイメージアップ。
- ・みんなで協力し合ってやっていけばよいと思う。
- ・意義のある活動で継続していきたい。
- ・必要と思う。
- ・赤い羽根募金は大変でしたが、しっかりやってくれる人もいれば、いろんな方がいるので大変でしたが、経験ができて良かったと思いました。
- ・街頭募金運動に参加して、今まで募金運動をされている方々の前を何気にスルーしていた気がして自分の行為が恥ずかしく思いました。募金して下さった人達に感謝します。
- ・街頭募金は皆の協力で楽しくできました。
- ・赤い羽根共同募金、街頭募金を今以上にすべきです。自分たちの活動費は自分たちで集める。
- ・活動は民生委員児童委員が情報を得る手段として重要です。ぜひ継続して下さい。
- ・各団体がやっているのを考え直す時がきていると思う。
- ・あつめた募金がすべて寄付になるかと思っていたのですが・・・
- ・稲荷さんに来る人少なく祭りなどあればと思います。
- ・お金のトラブルが心配。
- ・募金活動への呼びかけ声が少し強制感が出てしまい反省しました。
- ・赤い羽根募金で、物を渡すのはやめるべき(子供への風船程度はOK)、その分を有効配布すべき。
- ・赤い羽根運動は初めて協力できました。
- ・民生委員は、あくまでも地域の高齢者の見まもりが主などで、街頭募金活動は、おかしいと思う。
- ・民生委員がなぜ説明もなく強制的に参加させられるのか理解できない。
- ・街頭募金の協力は良いとしても事業者募金は民生委員の仕事としてはおかしいのではないか。
- ・街頭募金は民生委員・児童委員の間のまとまりとか同志としての感情が高まるので有意義だと思うが、事業所募金は民生委員・児童委員がやるべきことではない。
- ・街頭募金はボランティア団体をお願いしたらどうか。
- ・民生委員の仕事として一番いやな事が多く、共同募金をやるという事が民生委員として、やるべき事かなーといつも思います。やりたくないというのが本音です。
- ・民生委員として自分が所属する地域で募金活動しようと思っても、地域のお店で活動をさせてほしい・・・と言っても、断られるぐらいならしない方がよい。又、赤い羽根募金は町内、会社、学校でも

お金払っているので何回もする必要はないと思う。

- ・民生委員の年寄りがやる事じゃない！
- ・まだ「街頭募金」の経験はないが、わざわざ街頭ですることだろうか。私の住む町内は「町内会費」で支払っている。これは「任意の募金」と呼べないのではないか。

1 3 歳末たすけあい街頭募金への協力

- ・民生委員活動のイメージアップ。
- ・みんなで協力し合ってやっていけばよいと思う。
- ・意義のある活動で継続していきたい。
- ・必要と思う。
- ・活動は民生委員児童委員が情報を得る手段として重要です。ぜひ継続して下さい。
- ・継続したい。
- ・お金のトラブルが心配。
- ・民生委員は、あくまでも地域の高齢者の見まもりが主などで、街頭募金活動は、おかしいと思う。
- ・カレンダー配布の機会でするので充分、相方の事もあるので。
- ・募金活動で集めたお金が、一部とはいえ、自分たちの方へ入ってくるという現状に異和感を感じます。
- ・民生委員がなぜ説明もなく強制的に参加させられるのか理解できない。
- ・街頭募金の協力は良いとしても事業者募金は民生委員の仕事としてはおかしいのではないか。
- ・街頭募金はボランティア団体にお願いしたらどうか。
- ・民生委員の仕事として一番いやな事が多く、共同募金をやるという事が民生委員として、やるべき事かなーといつも思います。やりたくないというのが本音です。
- ・民生委員の年寄りがやる事じゃない！
- ・まだ「街頭募金」の経験はないが、わざわざ街頭ですることだろうか。

1 4 歳末のひとり暮らし高齢者や障害者等への見守り訪問の協力

- ・カレンダー配布時に見守り確認をしています。カレンダーは継続してもらいたい。
- ・民生委員活動の重要課題である。
- ・担当地域の高齢者のために必要だと思います。
- ・これは特にやった方がよいと思う。
- ・意義のある活動で継続していきたい。
- ・必要と思う。
- ・カレンダーを配布しながら様子を聞けたり出来て良かった。
- ・活動は民生委員児童委員が情報を得る手段として重要です。ぜひ継続して下さい。
- ・カレンダー重く軽いと助かります。
- ・特に障害者の名簿を個人情報で担当課から頂けず今のままでは対象者が減少するのみである。
- ・ひとり暮らし高齢者を名簿に従い訪問していても、入院、転居等で不在となった場合、訪問或いは近所からの連絡で戸が閉められていた時、最悪な状況を考えてしまう。前記の入院、転居等の場合、必ず民生委員にも連絡が欲しい。
- ・訪問を拒否される場合がある。その方に問題があり他の方が入った場合、なぜ訪問していないのかと責められたことがある。(かなり強い口調で)。民生委員をその場で辞めたかった。若い頃自由気ままにやってきて困ったら民生委員・行政へは虫が良すぎる。
- ・歳末だけでなく、平日頃が重要。
- ・手渡すカレンダーの小型化をお願いしたい。
- ・ひとり暮らしの高齢者の情報は、日頃の活動の中である程度の把握ができる環境にあるが、「障がい者」の状況把握はまったく出来ていない。前年までの情報を踏襲しカレンダー配布をしているのみでプ

ライバシーの点からそれ以上のことは出来ないのは当然である。「障がい者」は福祉課が主管課であることから、何らかの具体的な説明はないのか？民生委員としても今のままでは、取り組みようが無いと思うが？

・情報を調査して挙げることは大事とは思いますが、一人で行っているのは大変だと思う。(動くこともムズかしい方もいます) 増員できたらよいのではと感じている。

・上記6項同様、行政は持参品を準備するだけで、訪問はせず、「の協力」は不要。市の福祉計画や地域福祉活動ハンドブックによれば、地域の”見守り”は福祉委員が担当する様な記載だが、現実には無理。民生委員がやらざるを得ない。前述の文書や民生委員業務の定義や紹介等、要改正。新規配布希望者を募るのは、広報ではなく、町内回覧にすべき。

15 その他(1~14以外)

・調査や配付は実態がみえるしかかわりやすくなるので、6,7,9,14は大切と思う。

・どの活動も自分の生活に無理のない範囲であれば協力したいと思います。

・子の不登校に関連して、民生委員・児童委員としてのかかわりを研修したいです。

・ひとり暮らし及び二人暮らしの一覧の情報は市から有りますが、母子・父子の一覧が無い為、様子を伺うことができない為情報を希望します。

・赤い羽根共同募金受配申請の件、赤い羽根に協力しても、その分全てを配分申請するのは、赤羽根の主旨に沿うものとは言えない。配分申請なしで対応できるように検討すべき。

・小さな福祉の活動が沢山あります。豊川市社協の「福祉の日」を作り、「チャリティーバザー」「ふれ愛・みんなのフェスティバル」「介護表彰」「習字」「写真」「ポスター」の表彰等をまとめて1つのイベントにしてみてもいい。

・せっかくみなさんと活動をとものにできるので、委員相互のコミュニケーション交流の機会を持ちたい。

・音羽地区のおにぎりマンの活動は、池戸さん中心に本当によく活動されて、頭が下がります。

・《改善して欲しい》トップの人達にお願いします。資料の印刷のムダをととても感じます。《案》が通れば報告で済み、実際何かを行う際に正規の資料を頂きたい。時間も労力も税金がムダにつかわれていますネ。

・見守り訪問はいやがられる場合があるので、6の調査訪問は良い。

・チャリティーバザーは、コロナが終息してから行うべき！もっと規模を小さくし、売れる物だけを寄贈して頂き販売する様にして行くべき！

・介護高齢課からの年代別の1人暮らし2人暮らしの名簿を頂きますが、やはり独居高齢者の見守り中心となっています。一人暮らしの方は、どんどん増えて行きます。

・民・児の委員も高齢者が多くなっています。災害時援護者の支援者も高齢者が多くなって本当に老々見守りとなっています。地域で各団体と有効に話し合い支えて行くしか有りません。若い世代への制度も含めて引き継ぎが大切ですが仲々有効な手段が難しい。

・社会全体のもの見方等、大きく変化してきていると思います。個人情報取り扱いについても然り。そういった中で、民生委員の立場や取り組み方は、時代に合っていないような気がします。これらを検討していく必要があるかと思えます。

・重層的支援体制構築が進められると思うが、体制のキーとなる”アウトリーチ”や”伴走的支援”が文字通り実施されることになれば、CSWや行政が頑張っても、地域での活動への”協力者”がどうしても必要になる。現状、社協や行政の書き物によれば、”福祉委員がこれを行う”ことを示唆しているが、その時、どうするか、社協に問われる。体制が構築され実施された場合、民生委員が混乱なきよう種々検討の事。(民生委員は準公務員から、市役所から指示された業務は遂行しなければならないが、社協からのものは、指示ではなくあくまで要請と認識している。)

・民児協の行事を考えると、民生委員は”準公務員”から、公務員としての見方が必要と考える。公務員がその事業をやるのが妥当か？である。

- ・協議会の総会等で行うのは”協議”ではなく”審議”。
- ・理事会や地区民児協での議案数が多すぎるので、定例的及び軽易な議案については、理事会で1回で可決し、地区民児協に報告する形をとる方が良い。事業計画、予算、前年に比し大幅な変更のあった事業など重要案件は今の協議、審議の形で良いと思う。
- ・民生委員を務めたのはボランティアで、地区・市への少しでもお手伝いできればという気持ちから、プロを目指すのではない。赤い羽根、バザー等々良いことだからという理由で携わっていたら関係のある仕事が増え片付け仕事になりがち。それより地域の人々困っている人寂しい人等々直接ふれあいを大切に安心して生活を送れるようお手伝いできることを第一目標にしたい。
- ・民生委員・児童委員の活動そのものを社会の現状（複雑化、変化の速さ、民生児童委員の高齢化になり手不足、専門性、個人情報など）にあった持続可能（SDGs）な体制整備を切に望みます。
- ・どの活動においても「印刷物、配布物など減らせるものは極力減らして経費削減ができればいいのになあ」と常々思っております。
- ・⑥、⑨、⑭は民生委員として必要性を感じるが、あとは必要ないと思う。
- ・自分の仕事をしないで、民生委員活動をするのは大変です。
- ・6～14について、実施する目的、効果、対応の見える化が必要！（情報の共用化も含む。）
- ・地域（町内会）との連携をもっと活用した方が、全体を把握できるのでは？
- ・チャリバの再検討。準備～物品の保管～処理大変。
- ・市から民生委員への情報が少ないと感じる。こちらから聞いても個人情報なので答えられないという事だが、情報を共有する事で成果が上がると思うが、何とも残念な気がする。
- ・民生委員児童委員の活動を見直した方がよいと思う。現在、民生委員の役を引き受けてくれる方がいない。また、今よりも高齢化する中、今までのような活動を続けるのは無理が出る。結局、やってくれる方がいないので、断ることができない人のところばかりに集中する。これはよくないことです。市役所の中のそれぞれの課がやればできることだと思います。
- ・年数回、市の担当者が地区民協の定例会に欠席されます。この時を利用して市の担当者が20～30分程度の講演又は実例を発表頂ければ幸いです。
- ・民生で配布するカレンダー
- ・1～14 それぞれに民生委員・児童委員として認識していれば協力すべきと考える。確かに好んで委員になった人は少ないが、その必要性（行政だけではできない所を補い、地域の活性化のために）を2年目、3年目にはより浸透させる。
- ・行事・活動も、トップダウンも良いが、毎年目的・意義を再確認して民児委員を導いて欲しい。
- ・1,2,3の研修は、内容によっては有意義。是非続けて欲しい。ただ講演者の自慢話オンリーで終るものもある。不愉快。
- ・個人のプライバシーに関わることが多いので、なかなか聞くことが難しい。
- ・1～5について、全体的に中身がない。（あるべき姿、課題が不明）やる事に意味のある活動が多いと思う。やらなくても良い活動もいっぱいある。研修会の内容がたるい。
- ・市役所、社協、民生委員のあり方が不明確
- ・市民児協の会長職の任期は、上限規約を設けることがベターである。
- ・このようなアンケートはいいかげん止めましょう。結果が反映しないんだから労力のムダ。